

ヨミネス しばた

Yominesu Shibata News

議会だより



スポーツ振興でまちを元気に！



第149号

発行／新発田市議会
編集／広報広聴委員会



富樫勇樹選手ミニバスケットボールクリニック

スポーツ振興で まちを元気に！

スポーツのまち新発田の魅力！

この夏、新発田市はスポーツで賑わいました。

コロナ禍を経て、スポーツの力「する」「観る」「支える」を改めて感じ、まちを元気にできる取組について考えたいと思います。

今回の議会だよりでは、市内外のスポーツ・カルチャーツーリズムの取組や現場取材しました。

8月から9月にかけて、市内では盛岡誠桜高校野球部(岩手県)、日大豊山高校野球部(東京都)、明治大学バスケットボール部(東京都)、法政大学応援団(東京都)のスポーツやカルチャー団体が新発田市で合宿を行いました。

明治大学バスケットボール部のスポーツ合宿

8月11日から15日、カルチャーセンターを練習会場に約40人が汗を流していました。
明治大学バスケットボール部佐々木監督にお話を伺いました。

Q1.練習環境など充実できていますか

A1 2面のコートが使用でき、冷房が完備されているので、猛暑の夏ですが、大事なリーグ戦の前に快適な練習ができています。合宿所と練習会場の送迎バスもスムーズでした。ご飯が美味しいです。

Q2.当市での合宿を選定した理由は

A2 大切にしている人脈のなかで、今回は大学OB関係者からのお話があり新発田市に決めました。開志国際高校出身の選手もいるので新潟には親近感を持っていました。

Q3.当市の印象は

A3 合宿所周辺は、山と池があり静かで自然豊かな良い印象です。皆さんとても親切で温かく接してくれます。城下町だと聞いていますが、時間がとれず、その風景は見られていません。

Q4.会場など改善点や要望は

A4 大学生は、まだ身体づくりが重要なので、筋トレ、食トレにも力を入れています。練習会場に少し広めのトレーニングルームがあるとありがたいです。新潟だけにご飯は非常に美味しかったです。選手はたくさん食べるので副菜も多めに要望しておけばよかったです。

今回はリーグ戦前の大事な時期の合宿だったので、市民の皆さん、子どもたちとの交流等ができませんでしたが、機会があれば一緒にバスケットを楽しみたいと思います。また、市内めぐりもしてみたいです。



スポーツ・カルチャーツーリズムは、今後の地域活性化(地域経済・スポーツ振興)に大きな可能性を秘めていると同時に、施設の充実や送迎方法、食事サポートの重要性など様々な課題も多いと感じました。新発田市の特色を活かした合宿誘致により、当市の魅力を知ってもらい、交流人口の増加や観光誘客に繋がることを期待し、何より利用者にとって実り多い合宿となることを願います。

法政大学応援団のスポーツ・カルチャー合宿

リーダー部、チアリーディング部、吹奏楽部の3部で構成される法政大学応援団約80人が、8月29日から9月6日、市内でスポーツ・カルチャー合宿を行いました。9月3日(日)には市民文化会館で成果発表会を行い、素晴らしいステージパフォーマンスを披露してくださいました。

リーダー部団長 岸野友亮さん

Q1.猛暑だが練習環境など充実できていますか

A1 炎天下で行う応援なので暑いのも訓練。環境はとても良いです。ホテルの皆様や市民の皆様が優しく温かく支援してくれていると感じ、とてもありがたいです。関係者の皆様に感謝します。

Q2.当市での合宿を選定した理由は

A2 特定の地域にこだわらず毎年各地を転々としています。今回の合宿では、ホテル周辺を10km走れるので良い環境です。

Q3.成果発表会の出来栄は

A3 成果はまだですが、団員の成長を感じることができました。3部の連携とチームワークをもっと高めていきたいです。

不自由なく活動できました。食事は特にお米が美味しくて、卵かけご飯を毎朝3杯食べていました。合宿中は時間に余裕がなく、温泉に入れなくて残念でした。



チアリーディング部総務責任者 寺本咲楽さん

Q1.練習環境などに改善点や要望は

A1 施設にエアコン設備があり良い環境で実のある良い合宿ができました。東京六大学野球の関係者で情報共有できる場があるので新発田市をお勧めしたいです。

成果発表会では本番に繋がる練習になり満足です。新発田市の皆様に感謝の気持ちを伝えることができました。

いつか、また来て月岡温泉にゆっくり浸かりたいです。



お米の美味しさ、冷房設備のある練習会場、大学OBや合宿所の人の温かさなど、当市の推しポイントに高評価をいただきました。今回のスポーツ・カルチャーツーリズムでたくさんの方が当市との縁を深めることができたことと思います。いつか、観光に訪れていただいた際には、新発田市の魅力をもっと知っていただき、さらに輪が広がっていくことを期待したいと思います。

スポーツ・カルチャーツーリズムとは

スポーツをする(大会参加やアクティビティ、合宿など)観る(スポーツ観戦など)支える(ボランティアやマネジメントなど)という3つの要素をとりまく経済効果、社会的効果が期待できます。

市外や県外の高校・大学・社会人などを対象に、スポーツ又は文化芸術活動の合宿や大会を誘致することで、宿泊等による当市の経済活性化を図るとともに、市民へ観戦、鑑賞機会を創出することで、スポーツ、文化芸術への意識向上を図ります。

当市では、充実したスポーツ施設と全国的にも知名度の高い月岡温泉などの観光資源を融合させ、大会や合宿を誘致し、地域経済の活性化を促進する「スポーツ・カルチャーツーリズム」に取り組んでいます。「城下町新発田」の歴史や文化、海から山までの豊かな自然に触れて魅力を知っていただき、スポーツ・カルチャーの輪と人の輪がより広がっていくことを期待します。



新発田市スポーツ・カルチャーツーリズム 応援補助金制度

●交流人口の拡大及び地域経済の活性化を図ることを目的に、市内で合宿又は大会などを行う市外の団体に対して補助金を交付します。

対象…当市で合宿又は大会などを行う市外のスポーツ団体及び文化芸術団体

条件…市内公共施設を利用し、市内の宿泊施設にて宿泊をする。

・スポーツ団体→1回の合宿(大会)で、延べ宿泊数(宿泊総数)が30人泊以上であること。

・文化芸術団体→1回の合宿(大会)で、延べ宿泊数(宿泊総数)が15人泊以上であること。

補助金額…1泊2,000円×延べ宿泊数が対象額(上限20万円)

※予算額に達した時点で終了します。



新発田市スポーツ大使 富樫勇樹選手の今後の活躍に期待します！



ワールドカップ日本代表キャプテン富樫勇樹選手と地元新発田の子どもたちとの「ミニバスケットボールクリニック」が開催されました。9月14日、カルチャーセンターに詰めかけた多くの観客は、スーパープレイに魅了されました。

トップアスリートの存在を身近に感じ、良い刺激をもたらした子どもたちのなかから次世代のスターが育ち、スポーツ振興に繋がることを期待します。

スポーツ大使としても活躍する富樫選手には、高い注目度を活かして、ふるさと「新発田」を国内外にPRしていただいています。

平均的ではなくても、できることを磨いて武器にするポジティブな精神を、まちづくりにも取り入れたいと思います。



社会文教常任委員会視察報告 長野県軽井沢町のスポーツ・ツーリズム

令和5年8月24日(木)・25日(金)の両日、社会文教常任委員会では行政視察に行っていました。1日目には、軽井沢町のスポーツ・ツーリズムについて、2日目は、松本市の健康長寿対策について、それぞれの取組について視察しました。

ここでは、特集のスポーツ・ツーリズムについて報告いたします。

長野県軽井沢町は、テニス、ゴルフ、カーリング等、様々なスポーツの施設環境が整っており、練習や合宿、大会などで全国から多くの人を訪れています。また、上信越道や長野新幹線(現北陸新幹線)といった交通インフラの利便性や、標高1,000m近くの避暑地といった環境も魅力とされています。

軽井沢町はこれまでスポーツや音楽等、学生の合宿地として、また、テニスやゴルフを目的に幅広い世代が訪れてきました。しかし、冬季の来町者が少ないことが課題となっていました。平成2年に夏季は屋内テニスコート、冬季はスケートリンクに切り替えて使用できる「風越公園アリーナ」を開設。平成10年に開催された長野冬季五輪のカーリング会場にもなりました。現在は、通年のスケートリンクに転換するほか、周辺にも多くのスポーツ施設を整備し、通年で練習や競技のできる環境が整っています。



**新発田市もスポーツ・カルチャーツーリズムを推進しています。
全国から新発田市を訪れていただけるよう、議会としても研究を進め、提案していきます。**

光熱費の高騰による全庁的な施設使用料を見直す改正

<総務常任委員会での質疑>

Q 本庁舎市民開放施設の使用料の改定率は。

A 札の辻広場 …………… 20%増
 札の辻ラウンジ …… 11%増
 テラス …………… 50%増
 市民ギャラリー …… 10.7%増



光熱費の高騰により、施設の維持管理費が増加していることから、全庁的な基本方針に基づき、施設の使用料を見直します。

<社会文教常任委員会での質疑>

Q 値上げによる全体の金額は。

A 全庁の試算として令和4年度収入総額8,600万円、今回の見直しの増収分は概算で約700万円と見込んでいる。

<経済建設常任委員会での質疑>

Q 公共浴場である「あやめの湯」の福祉的な考慮はされているか。

A 持続可能な施設運営を維持するための全庁的な対応である。値上げ分を負担していただく。

印鑑条例の一部改正について

<総務常任委員会>

コンビニエンスストア等に設置されている端末機による住民票の写し等証明書の交付について、マイナンバーカードに加え、スマートフォンを利用し交付を受けることが可能となることに備え、印鑑登録証明書の交付に対応した改正を行います。



ヨリネスの交付端末機

新発田地域広域事務組合参画事業

新発田地域広域事務組合及び新発田地域広域消防本部の新庁舎建設に係る実施設計費の負担金について。

<総務常任委員会での質疑>

Q 負担金の財源と構成市町の負担額は。

A 財源として、地方債が9,140万円、前年度繰越金が1,573万1千円。負担割合に応じて、当市1,034万4千円、胎内市は378万8千円、聖籠町は206万8千円を負担する。

がん患者医療用補整具購入費助成事業

<社会文教常任委員会>

がんの治療と社会参加等の両立支援として、治療により必要となった補整具の購入費の一部を補助します。

次の3区分に1人1回、1/2補助
 医療用ヘアウィッグ(上限2万5千円)
 乳房補整具(上限2万5千円)
 人工乳房(上限5万円)

新型コロナワクチン接種後の健康被害見舞金

ワクチン接種後に健康被害を訴え、予防接種健康被害救済制度の申請を行い、国の審査結果の答申を待つ方に対して市独自の見舞金を支給します。

<社会文教常任委員会での質疑>

Q 見舞金の内容は。

A 金額は1件2万円。
 国で救済が認められると医療費が返ってくるため、医療費の二重支給とならないように当市は、見舞金2万円として設定した。

主なものをご報告します。

定例会

主要作物振興支援事業

農林県単特認事業を活用した燃油価格、電気料金及び肥料価格高騰に対する補助事業を実施します。

<経済建設常任委員会での質疑>

Q 申請者はどのような組織や作業形態の農業者か。

A 26事業体のすべてがトラクター、コンバイン等の水田での活用である。法人が18事業体、その他は個人の大きな農業者である。

農業経営支援利子助成事業

夏季の高温及び渇水により被害を受けた農業者等の経営の維持・安定を図るため、県が低利率の融資制度を創設したことに伴い、市も協調して利子補給を実施します。

<経済建設常任委員会での質疑>

Q 高温及び渇水被害を受けた農地等の修繕のようなハード的な費用の発生も対象か。

A 農業経営の継続が目的であり、ハード面での支援ではない。

経済建設常任委員会委員長の辞任に伴い、宮村幸男議員が委員長に就任しました。



9月定例会

詳細およびここに記載以外の議案は市議会ホームページをご覧ください。

主な議案等に対する賛否の一覧

議第30号	新発田市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	全員賛成
議第31号	新発田市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例制定について	賛成多数
議第33号	新発田市印鑑条例の一部を改正する条例制定について	賛成多数
議第52号	新発田市一般会計補正予算第4号	賛成多数
議第53号	新発田市国民健康保険事業特別会計補正予算第2号	全員賛成
議第55号	新発田市後期高齢者医療特別会計補正予算第2号	全員賛成
議第56号	新発田市コミュニティバス事業特別会計補正予算第1号	全員賛成
議第57号	令和4年度新発田市一般会計歳入歳出決算	賛成多数
議第68号	新発田市一般会計補正予算第5号	全員賛成
議会第7号	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書	全員賛成
議会第8号	私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成増額・拡充を求める意見書(国会及び関係行政庁あて)	全員賛成
議会第9号	私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成増額・拡充を求める意見書(新潟県知事あて)	全員賛成

令和4年度 一般会計歳入歳出

歳出 493億4,880万円(対前年度比9,356万円／0.2%増)

歳入 516億2,226万円(対前年度比7億6,833万円／1.5%減)

前年度に比較して、歳出約1億円の増額となった令和4年度決算。主な理由は、令和3年度に緊急経済対策として国が実施した臨時特別給付金事業の減によるものです。

決算審査は、**新型コロナウイルス感染症対応**及び**事前に議論を重ねた内容**を重点的に行いました。

重点項目を
事前に協議

総務関係

- 財源対策
- 公共交通

社会文教関係

- 子育て問題
- 教育の充実

経済建設関係

- 中小規模事業者の所得向上(農業含む)
- 防災(減災)

議員から選抜
された委員が
決算審査特別
委員会で議論

一般会計決算審査特別委員会

委員長	板垣	功茂
副委員長	高橋	徹学
	小川	清隆
	若月	はじめ
	宮野	佳太
	小柳	和雄
	宮本	幸高
	加藤	三幸
	宮村	母島
	三島	渡邊
	長島	喜夫

新型コロナウイルス感染症対応

Q 今・得キャンペーンの効果は。

A 令和4年度3回実施し、約6万人の利用があった。飲食プランの総販売額が約4億5,000万円以上なので、経済効果としては、その3倍以上あったと捉えている。

Q プレミアム商品券の利用結果の比率は。

A プレミアム率50%で7,500円のうち、専門店・中小企業支援4,000円分、残りの3,500円分は大型店でも使える共通券である。
利用実績は、大型店利用は約22%であり、中小規模店で多く使っていただいたと認識している。

財源対策

- ふるさと納税を行う市民が増えると税収が下がることになり、都市間格差が広がることとなるため、議会としては問題として捉える必要がある。
- ふるさと納税は歳入増加の効果が大きいので、徹底して取り組む必要がある。低価格帯の返礼品が選ばれる仕組みの構築も必要。
- ふるさと納税の返礼品は地元産業の起爆剤となり雇用創出や税収増加に繋がるので持続可能な制度にすることが必要。
- 急激に寄付額を伸ばしている他市の取組を研究することが大切。

公共交通

- 交通弱者にやさしい公共交通にしていきたい。高齢者の外出ニーズに応えていくべき。

決算を審査・可決しました

市長と一問一答 市長総括質疑

●遠距離通学バスの基準について

- Q** 冬期間の通学バスには、小学校は片道2.5km以上、中学校は片道3km以上という基準がある。距離の基準だけでなく、通学状況や集落が離れている距離などを加味して通学支援基準を見直すことはできないか。
- A** 基準の線引きによる不公平あるいは不条理を理解しつつも、ルールに従うことは行政あるいは政治に関わる者の務めである。

重点項目についての議論の内容

- 利便性とかかる費用のバランスが大事。郊外の移動手段は確保できているので、免許返納者による利用者増加が見込まれるが、運転手不足が深刻化しており、維持していく準備が必要。
- 停留所を短区間に設置し運行している市もある。同じ経費をかけるなら、より多くの方に利用していただけるように議会としても議論を継続していく。
- 赤谷路線は、空白域が解消され非常に便利になった。
- 免許返納者への手厚い支援も必要になってくる。
- 運転手不足が深刻化しており、自動運転車両などの導入を検討し、安心して住める新発田市に。

子育て問題

- こども家庭センターは1か所ではなく、各支所や大型商業施設にも設置し活用してはどうかと考える。
- 「自助」「共助」「公助」の仕組みからすると、当市は「共助」を引き出す工夫があると良い。
- 少子化が継続している状況で、小・中学校は学校統合できるが、私立保育園と公立保育園の共存は難しいテーマとなる。
- 比較的郊外の公立保育園は存続し、田舎での移住・子育てを考えている人の受け入れの否定にならないように適正な経営が必要。



教育の充実

- 食育を進める上で、有機堆肥が非常に重要だ。有機資源センターの見学など、小・中学校で食の循環をしっかりと学んでもらいたい。
- 食べた残渣を堆肥化して栽培し、収穫して料理するという食のサイクルを実体験してもらうための、栽培の部分の事業も大事。

中小規模事業者の所得向上(農業含む)

- キネス天王の未活用部分は、市民や子どもたちとの交流スペースとして活用してはどうか。入居企業とインフルエンサーのコラボ企画で月岡温泉のPRをするなどの取組があってもよい。
- 有機米の学校給食提供は、子どもたちに当市の取組を知ってもらうことがSDGsの流れの中で非常に意義がある。生産者の所得向上にも繋がる。
- 有機米の生産には、技術や耕作地などの問題があり収量が確保されない。中山間地域だけでなく平場での取組も必要。

防災(減災)

- 浸水対策事業の市民の意見集約については、地区が限定されているため自治会での意見集約でもよい。ただし、昨今の異常気象発生もあり、全体の防災意識をあげる意味で、パブリックコメントで問うことも有効。貯留施設浸水対策では現地説明も大事。

本会議での
認定へ

本会議での賛成・反対の討論は次のページへ

討論

賛成

令和会 若月 学

執行部は、新型コロナウイルス感染症及び物価高騰による市民の生活不安が続く中、国の経済対策を前倒して、中小業者や高齢者、低所得者、子育て世代の方々に様々な支援事業を実施してきた。

今後もSDGs「誰一人取り残さない」理念のもと市民に寄り添った施策を願う。

賛成

共道しばた 小坂 博司

職員の健康管理については、安全衛生委員会等が十分把握し、健康維持に努められるよう願う。また、労働環境という意味で年度内に職員数の見直しを行い、令和6年度が各職場において精力的に働き、活力ある職場づくり元年となることを願い「賛成」とする。

賛成

ひらく会 小柳 はじめ

461億円の債務に対し交付税措置率は70%と高く財政調整基金も38億円と潤沢。産業育成面ではコロナ禍からの反転攻勢に転じるべき局面だが、新規事業はいずれも小粒で残念。硬直した役所組織の意識改革とDX化の推進で次世代への積極投資に舵を切るべきだ。

賛成

公明党 渡邊 喜夫

2歳児保育料と放課後児童クラブの無料化は子育て世帯の負担軽減。高齢者向けeスポーツは認知症予防として事業発展を。市のひきこもり当事者が255名と調査で明らかに。若者就労支援へジョブトレーニングの企業拡大など就労までのサポートと着実な実績を期待。

反対

日本共産党 加藤 和雄

経済対策の効果的な施策の打出しに、審議会の開催と活用を。学校給食費は無償化をめざし全額補助すべき。高すぎる国保税の引き下げ、子どもの均等割をゼロに。マイナカード取得者へ商品券の抽選贈呈でなく、交付金は有効活用を。地域循環型農業で地産地消を。

令和4年度一般会計決算について、賛成・反対の意見を述べています。



8つの特別会計、2つの企業会計の決算を 審査・可決。主な議論は次のとおりです。

【土地取得事業】

- Q** 時代の情勢で、土地取得時の価格から売却価格は目減りしている。毎年少しずつ基金残高が減少している状況については。
- A** 売却時の価格が目減りしている状況や、平成30年の基金残高約9億円から減少している状況は事実である。土地を抱えていると、草刈りなどの維持管理経費がかかるが、売却すれば固定資産税などの収入が見込まれる。
長い目で見れば土地の有効活用が図られるため売却している。



【食品工業団地造成事業】



- Q** 食品工業団地でまだ販売できていない区画は約何%か。今後の販売見込みは。
- A** 令和4年度末の段階では2区画残っていたが、今年度1区画売れて、全体が約36,000㎡のうち残る1区画が10,555㎡である。現在は販売の問合せが2～3社ある状況で、今後も引き続き営業活動を行う。

【下水道事業】

- Q** 当市の計画している総管路延長に対する未施工延長はどのくらいか。今後の計画目標は。
- A** 整備率は、令和4年度末時点で67.76%まで進んでいる。令和25年度の完了を目標に整備を進めているところである。また、下水道事業は整備に加え接続促進にも力を入れて行っており、老朽化に伴う処理場の修繕費など経営面も考えながら計画を進めていきたい。



このほかに、特別会計には、国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療、宅地造成事業、コミュニティバス事業、藤塚浜財産区があります。企業会計は、水道事業があります。

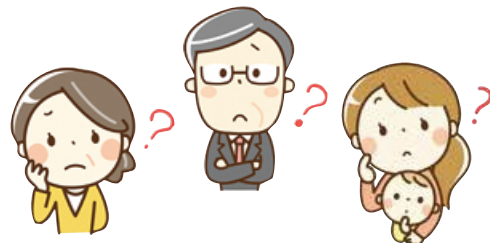
今後の生活 どう変わる？どうなるの？

一般質問とは？

私たちの暮らしに関係する身近で大切な問題について、議員が市長や教育長に直接聞いたり、提案をします。

一般質問の内容の一部概要をご紹介します。

一般質問の内容を動画で視聴できます。市議会ホームページの「議会中継」から「本会議録画配信」を検索するか、スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取りご覧ください。



Q1 これからの観光振興と文化財活用について

Q2 小・中学校の改修計画について

▶ 板倉久徳 議員

Q 文化財保存地域活用計画が策定され、文化庁長官から認定されたが、観光振興の観点からどのような利活用を目指すのか。

A 蔵春閣を新たな観光拠点として、周辺の寺町や清水園をはじめ市内各所の文化財や観光資源をつなぎ、市街地回遊を促す仕組みを構築したい。

Q 学校の長寿命化が進められているが、まだ大規模改修が進められていない校舎がある

が、今後の小・中学校の大規模改修の計画と見通しは。

A 今年度は川東中学校の大規模改修工事を実施した。引き続き順次改修を進め、今後は本丸中学校の長寿命化改良事業に着手したい。



Q1 産業振興拠点の場所の提供について

Q2 小・中学生のタブレット端末に電子書籍導入は

▶ 五十嵐良一 議員

Q 事業者が事業継続のために、気軽に起業相談・事業の意見交換等ができるコミュニケーションが図れる場所の提供を行うべきではないか。

A 経営に関する専門的なアドバイスが受けられる「しばた創業塾」を開催しており意見交換等を通じて受講者の交流が図れる場所がある。

Q 学校を通じ小・中学生のタブレット端末に電

子書籍登録のIDとパスワードを配付し、電子書籍読書環境を整備すべきではないか。

A 電子書籍については調査・研究段階であり電子書籍の導入が決定されたら各学校と連携し、児童生徒の読書環境の整備を進めたい。





Q1 新発田市の防犯対策について
Q2 市道の道路標示の点検・補修について

▶ 長島 徹 議員



- Q 新発田警察署管内に於ける今年上半期の刑法犯発生状況は。
- A 発生件数は198件で前年同期と比べ17件減少した。
- Q 現在の防犯カメラ設置状況は。
- A 公共施設に192台。自治会等には市の設置補助金制度によりH28年度～R4年度迄に24台設置。
- Q 今後の住宅街の防犯灯増設についての考えは。

- A 各自治会からの要望には可能な限り対応する。
- Q 市道の白線の点検補修を早急に可能にするための市の対応について。
- A 交通規制に関しては新発田警察署へ迅速な対応をお願いしている。



Q1 eスポーツによるまちづくり
Q2 大使(アンバサダー)制度の創設について

▶ 若月 学 議員



- Q 当市のeスポーツ推進の取組状況。
- A 昨年度から高齢者対象に開催。本年度はコミセン等で「ぶよぶよ」を使用し開催、今後は太鼓ゲームも検討する。
- Q eスポーツの認知症予防効果について。
- A 一定の効果があると認識している。
- Q 現在、大使の方々はどのような方がいるのか。報酬額は。

- A スポーツ大使は富樫勇樹選手、観光協会観光大使は三田村邦彦氏、三笑亭夢丸氏。全員無報酬。
- Q 一定の要件を設け、大使登録制度を創設してはどうか。
- A 観光協会に相談をしてみたい。



Q1 住民の命と暮らしを守る防災・減災の強化を
Q2 学校給食費の無償化へ一歩前進を

▶ 高橋 芳子 議員



- Q 防災マップを町内毎に作り防災意識を高めてはどうか。
- A ハザードマップ更新を予定、防災講話で向上を図る。
- Q 昨年の内水氾濫の対策進捗状況は。
- A 中田川改修の必要性を強く訴え、県は用地取得等準備を進めている。
- Q 木造住宅無料耐震診断、耐震改修及び耐震シェルター設置の費用補助制度の普及は。

- A 引き続き、本制度を周知し支援する。
- Q 無償化を検討するとしたが、取り組みは。来年度は今年度並の額に据え置きと考えてよいか。
- A 今年度は第三子以降支援事業対象者を拡大し約8%値上げ改定相当額を交付金で支援した。来年度は改定額とする。





Q1 マイナンバーカードの普及・促進策について
Q2 渇水による農業への影響と今後の対策は



▶ 渡邊 喜夫 議員

- Q 新発田市の世代別交付状況と推進は。
- A 75歳未満は、20代の57%を除き、他の世代で70%超。60代は80%を超え保険証利用の取得が多いと推測。国は保険証利用を積極的支援、市も普及推進したい。
- Q 新潟県は財政支援を決めた。災害との意識で行政支援が必要。干ばつによる農産物の被害や農地のひび割れ被害等、今後の対策と支援は。

- A 菅谷、川東の圃場に被害。今後1等米比率の低下を危惧。ポンプ購入、借上費用等の緊急補助を創設。



渇水によって枯れた稲



Q1 新発田市子ども条例(仮称)の制定について



▶ 三母 高志 議員

- Q 日本国憲法や児童の権利に関する条約の精神に沿う、こども基本法のこども施策を行う為「新発田市子ども条例」を制定すべきでは。
- A 今後、「市町村こども計画」の策定にあたり、この計画の実効性を高めるため、その後ろ盾となる「子ども条例」の制定が必要と認識する。
- Q 「子ども条例」策定には市民、有識者、事業

者等の他に、何より『こども』の主体的な参加と意見の吸い上げが重要だと思うがいかがか。

- A 「こども計画」の策定及び「子ども条例」制定の際には、効果的な手法を用いて、こどもや若者のご意見を聴取し反映したい。



Q1 健康増進及び糖尿病治療中断者対策を
Q2 HPVワクチン接種の周知・啓発の現状は



▶ 石山 洋子 議員

- Q 糖尿病が原因で透析になった人の割合は。
- A 透析を受けている全体の25.5%が、糖尿病が原因疾患である。
- Q 第3期データヘルス計画に過去5年迄遡り糖尿病治療中断者へ受診推奨事業を導入する考えは。
- A 現在、2年遡り抽出。今後は5年遡る計画を策定し実行する。
- Q 無料接種期限は来年度末。キャッチアップ

対象者への今年度の通知は。

- A 対象の17～25歳のうち17～20歳に個別通知済である。
- Q 9価ワクチンも含め最新情報を未接種全対象者に個別通知すべき。
- A 残りの方に個別通知し、ワクチンや接種費用の情報、子宮頸がん予防を周知する。





Q1 首都圏しばたサポーターズクラブについて
Q2 新発田市へ移住された方々の交流会及び支援



▶ 広岡けんじろう 議員

- Q 都内交流会形式イベント再開の検討は。
- A 組織が維持できず首都圏交流会イベントは廃止。
- Q 現在の首都圏しばたサポーターズクラブは。
- A 当市を活動拠点とする「しばたサポーターズクラブ」として再開。
- Q しばたサポーターズクラブの活動を、関西及び東海へ広げて行く予定はあるか。

- A 当市を拠点とした関係人口創出の取組が軸で、広げる予定は無い。
- Q 新発田市へ移住された方々の交流会、支援は行っているのか。
- A 交流会及び支援は民間団体に任せていく、市はサポートと情報発信を進めていく方向。



Q1 新発田の文化資源活用と映画館誘致を



▶ 阿部 聡 議員

- Q 観光誘客への活用として新発田に関連した俊傑の伝記をまとめて出版するか電子版を作成、伝承するとともに文化都市・新発田を発信してはどうか。
- A 戊辰戦争では溝口半兵衛らの活躍で新発田は戦火を免れた。彼らのような新発田の俊傑、偉人の人物像や功績等を掘り下げ魅力的に発信するホームページとなるよう改善を図る。

- Q 市民の悲願である映画館誘致など、環境整備につとめてはいかがか。
- A イオンリテールへ出向き、代表者と熱意をもって交渉し、ぜひとも映画館を誘致したい。



Q1 渇水に減収助成や国に支援を求めるべき
Q2 教員の長時間労働是正と給食費の公会計化は



▶ 宮村幸男 議員

- Q 県の渇水対策補助に加え、市でポンプ購入や収量減の3割補助などできないか。
- A ポンプ購入費やリースは半額補助としたい。減収に対する支援は考えていない。
- Q 食料自給率や農業所得の向上、渇水支援を国に求めるべき。
- A 食料自給率向上は喫緊、必要とされる支援を国に要望していく。

- Q 教員の長時間労働是正が急務だが、市内小・中学校の教員不足数は。
- A 5校7名の欠員がある。
- Q 文科省が進める学校給食費の公会計化の実施は。
- A R7年度の市基幹システム標準化ののち整備する。教員の働き方改革にもつながると考える。





Q1 LGBT理解増進法について
Q2 公立保育園、こども園について



◎ 惣山かすみ 議員

- Q 海外でこの法を悪用した性犯罪、子どもの早期性教育等の問題が生じている。市では未然に防ぐ方策を検討されているか。
- A 全国では、パートナーシップ制度導入などされているが市としては慎重に進めていきたい。
- Q 布団の週末持ち帰りを無くすため、お昼寝コット(簡易ベッド)導入はどうか。

- A 保管場所と金銭的なことが園や保護者の負担になることが考えられる。今のところ考えていない。
- Q 毎日のオムツ記名・持参を無くすため、定額制導入はどうか。
- A 保護者のニーズがあれば良いと思う。



Q1 国道290号の課題について
Q2 市道の整備について



◎ 中村こう 議員

- Q 国道290号の狭あい部分の早期解消を国県へ強くお願いしていただきたい。
- A 改良促進期成同盟会の副会長として継続して要望をしていく。
- Q 法面の除草伐採を早く進めていただきたい。
- A 管理者である県に実施していただくよう要望を伝える。
- Q 市道整備における予算の増額で要望箇所の早期改修を。

- A 限られた財政の中で事業推進している。傷み具合など勘察して進めたい。
- Q 市道の法面の除草は地先の方も高齢化等でできにくくなっている。行政でやるべきでは。
- A 自治会等からの要望を受けて行政で実施する。



Q1 第9期介護保険事業で介護保険料の軽減を
Q2 市役所で働く会計年度任用職員の待遇改善を



◎ 加藤和雄 議員

- Q 介護基金が20億円を超えている。基金を活用し保険料の負担軽減をすべき。
- A 基金を崩し県下で一番低い保険料を目指すよう職員に指示した。
- Q 特養待機者のための対策をすべき。
- A 短期入所など既存のサービスを特養ホームに転換することも視野にいれ検討したい。
- Q 会計年度任用職員の継続的な任用の保障をすべき。

- A 毎年度選考を行う。更新回数に上限は設けていない。
- Q 法改正で来年度からパートタイム会計年度任用職員に勤勉手当の支給が可能となる。手当を支給すべき。
- A 手当は支給する方向で検討したいが内容決定に時間をいただきたい。





Q1 移住定住政策は再評価する段階ではないか
Q2 放課後児童クラブはもう少し思慮すべきでは



▶ 小柳はじめ 議員

- Q 大ヒット政策の家賃補助制度で単身者の移住対象を県外に限定したのは失策だ。
- A 5年後定住率が低いため見直したが、市内事業者への人材確保の観点から新たな補助制度策定を指示した。
- Q 首都圏へ流出する若年層のため学生向け帰省バスを運行してはどうか。
- A 先行事例では採用に結びついていないが、市内事業者への人材確保策として企業訪問ツアー実施を担当課に指示した。

- Q 利用者ニーズは多様化しており英会話やプログラミング等の習い事と連携するなど、民間ノウハウ導入を検討してはどうか。
- A 需要がどれだけあるか保護者に向けての調査を検討する。



Q1 農事者への支援及び農産品輸出の現状と展望



▶ 宮本佳太 議員

- Q 農畜産事業者及び従事者の減少状況と地域おこし協力隊採用による後継者獲得に向けた取組は。
- A R 2年統計で、過去5年で3割減。協力隊員1名を農業担い手として採用。
- Q オーガニックSHIBATAプロジェクトと六次産業化の今後は。
- A 有機米、スマート農業推進と企業誘致等に取り組む。

- Q 主要農産品である米と新発田牛の昨年度輸出実績と強化策は。
- A 米は306t・5,800万円。民間連携で台湾開拓強化したい。新発田牛は米国へ29頭・4,600万円。
- Q 農業支援ワンストップ窓口の課題と展望は。
- A 新規就農相談が大半、認知度アップも検討。



インターネットで生中継します！



市議会ホームページでは、本会議のインターネット生中継を行っています。

パソコンやスマートフォンなどで本会議の様子が視聴できます。また、本会議終了後概ね1週間後には、録画映像も配信しています。

なお、ご視聴の際は、市議会ホームページに掲載の「ご利用案内」等をご確認ください。

本会議の生中継は、本庁舎1階ロビーのモニターでも行っています。

ぜひご覧ください。



研修・視察の報告



一人ひとりが主体となる働き方と 持続可能で活力ある地域社会の実現を

◎議員政策勉強会 <8月30日(水)>

協同労働ってなに？

講師 にいがた協同ネット事務局
一般社団 協同総合研究所
理事

川原 隆哲 さん



「協同という働き方」とは、人や資金を市民みんなを出し合って運営にも参加して一人ひとりが主体となる働き方。利用者や住民との協同を大切に、人と地域に必要な仕事を起こし、良い仕事を目指すことである。

労働者協同組合法は、①ワークライフバランスとディーセントワーク(働きがいのある人間らしい仕事)②出資・意見反映・事業従事の3原則が組織の基本原則③多様な就労創出と地域に必要な仕事づくり、持続可能な地域づくり、を目的としている。

多様な就労機会+地域の需要に応じた事業=持続可能で活力ある地域社会の実現、と捉え、新たな企業の在り方とネットワークや他業種・他分野との連携で、必要から始める仕事おこしの可能性を感じた。



自殺予防のための ゲートキーパー研修

◎新人議員研修会 <8月1日(火)>

講師 新発田市健康推進課職員の皆さん



新発田まつり民謡流しに参加しました



視 察

経済建設常任委員会

中心市街地(商店街)の
活性化について

8月21日(月)上越市

市委託の植物工場に
ついて

8月22日(火)

富山県富山市



令和会

豊浦町・噴火湾ととようら観光協会における
観光の取組について

7月5日(水)北海道豊浦町

まちづくり未来計画について「メルカリShop」
での行政備品の販売について

7月6日(木)北海道室蘭市

ICT利活用について

7月7日(金)北海道富良野市



社会文教常任委員会

スポーツ・ツーリズムについて

8月24日(木)

長野県軽井沢町

健康長寿について

8月25日(金)

長野県松本市



共道しばた

デザイン推進事業について

8月7日(月)北海道旭川市

もんべつ元気なまちづくり事業について

8月8日(火)北海道紋別市

「書かないワンストップ窓口」について

8月9日(水)北海道北見市

議会報告会を開催します！

議会報告会では、令和4年度新発田市一般会計決算関係を中心に9月定例会で審議された内容を報告するほか、意見交換も行います。

新たに設置された『議員定数及び議員報酬に関する特別委員会』において、今後、議員定数や議員報酬について検討するにあたり、市民の皆様からのご意見をお聞きします。



開催日	時間	会場		各班の説明議員
11月18日 (土)	午前10時～	市役所本庁舎4階委員会室	1班	1班 加藤和雄、若月 学、板垣 功、 板倉久徳、惣山かすみ、長島 徹、 石山洋子、阿部 聡
	午後1時30分～	菅谷コミュニティセンター	1班	
11月25日 (土)	午前10時～	豊浦地区公民館	2班	2班 宮村幸男、小坂博司、比企広正、 五十嵐良一、宮野清隆、高橋 茂、 小柳はじめ、広岡けんじろう、 青木三枝子
	午前10時～	市役所本庁舎4階委員会室	3班	
	午後1時30分～	五十公野コミュニティセンター	2班	3班 中村こう、宮崎光夫、小川 徹、 湯浅佐太郎、宮本佳太、高橋芳子、 三母高志、渡邊喜夫
	午後1時30分～	東豊コミュニティ防災センター	3班	

※事前の申込みは必要ありません。※どの会場にご来場されても構いません。

Web議会報告会は12月1日(金)19時 配信！

【日時】

令和5年12月1日(金)19時から20時30分
(終了時間は予定です)

【内容】

上記「議会報告会」と同じ内容です。
当日「YouTubeLive」のチャット機能でいただいた質問にリアルタイムでお答えする予定です。
※すべてのご意見・ご質問にお答えできるとは限りませんのでご了承ください。

【参加方法】

新発田市議会のYouTubeチャンネルでライブ配信します。
右の二次元コードを読み取ってご覧ください。
ぜひ、チャンネル登録もお願いします。
※ライブ配信は、配信ページにアクセスしていただければどなたでもご覧いただけますが、チャットへの参加にはYouTubeへのログインが必要になります。



二次元コードを読み取ると上の画面になります



議会からのお知らせ

12月定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
12/3	4	5	6	7	8	9
		議会運営委員会		本会議 (提案理由説明)		
10	11	12	13	14	15	16
	本会議 (一般質問) (一般質問) (一般質問)			常任委員会 (総務) (社会文教)		
17	18	19	20	21	22	23
	常任委員会 (経済建設)		議会運営委員会		本会議 (議案等採決)	

※請願・陳情の提出期限は11月30日です。
 ※変更等の場合は、ホームページ・エフエムしばた等でお知らせします。
 ※一般質問2日目及び3日目は、一般質問の通告議員が多い場合に行います。

本会議を生中継しています

本会議（定例会のみ）の開始（午前10時）から終了まで中継しています。

① FM放送

エフエムしばた（76.9MHz）で生放送します。



② インターネットサイマルラジオ

右の二次元コードまたは、エフエムしばたのホームページのバナーから聴くことができます。



③ インターネット生中継

市議会ホームページで生中継します。



下の二次元コードまたは「新発田市議会」で検索し、「本日の議会中継」からご覧ください。

市議会ホームページはこちらから

新発田市議会



<https://www.shibata-shigikai.jp/>

議会を傍聴してみませんか

市議会では市民に身近な問題を審議しています。

市民が市議会における審議状況を知ることができるように、本会議や委員会を原則として公開しています。

市民はもちろん、だれでも本会議や委員会の状況を直接ご覧いただけます。



みなさんも傍聴にお越しください！



編集後記

今年の夏は記録的な猛暑が続き、農作物の生育や収穫にも大きな影響を与えました。暑かった夏も過ぎ、秋を満喫する間もなく冬支度に追われている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。さて、これまでヨミネスの表紙には、新発田で輝く学生たちの活動の様子を紹介してまいりましたが、今号から巻頭特集に関連した内容を掲載すること

にいたしました。149号表紙には富樫勇樹選手ミニバスケットボールクリニックの様子を掲載しました。これからも新発田の魅力や可能性等の特集を組み、市民の皆様にも少しでも多くの情報を発信できたらと考えております。

(文責・板倉久徳)

【広報広聴委員】委員長／石山洋子 委員／板倉久徳・湯浅佐太郎・広岡けんじろう・高橋芳子・長島徹

令和5年11月15日発行 ©発行・編集／新発田市議会 広報広聴委員会 〒957-8686 新発田市中央町3丁目3-3 新発田市議会事務局
 © TEL 0254-28-9400 URL : <https://www.shibata-shigikai.jp/>

廃液を出さない環境対応印刷です

